

グレートブランド物語

Great Brand Story

第3回：文と構成／河村喜代子

ARC'TERYX

【アーケテリクス物語】

鳥類最古の祖先、 始祖鳥を自らの名前として アウトドアの世界へ。



磨いて削ってとことん作りこんだデイブ・レインがつくるハーネスは、地元バンクーバーの山仲間のおいだでは神話になっていた。右の写真にあるスカハは、デイブのもとにジェレミー・ガードが加わって誕生した。この名前は地元プリティッシュ・コロンビア州のペンティクトンの南に位置してロッククライマーが集まる絶壁、スカハブラフにもなっている。やがてジャケットなどのアパレルへと進むなかで、アーケテリクスは地元だけにとどまっただけでなく、カナダをもとよりアメリカも飛び越えて世界とつながる道を進むことになる。



1992年を迎えるころ、新メンバーが加わってハーネスだけでなくバックパックの製造を決めた。地下室ではとても間に合わなくなり1994年にはハーバーストリートの広い工場に移った。アウトドア雑誌からの受賞がつづいて注目を集め知名度が上がった時期でもあった。

Theta SV Jacket

[シータ SV ジャケット]

SV(シビア)な環境下での着用を想定し高密度ナイロン480Nを全面に使用。縦に4本の止水ジッパーが実用と同時にスピード感を演出している。色/ブラック、素材/ゴアテックス®プロシエル3L、価格9万3450円

08.92



09.97

Photo/Yasuji Yushina (WPP)



Constructed from 7075-T6 aircraft grade aluminum, this buckle lock harness technology to new heights. The custom made, epoxy coated piece featured...
By introducing dual zippered entry, our unique panel loading hybrid opened up new access possibilities. The peel open sides offered unrestricted access to the entire daypack. Focused on alpine applications, the dual lobe design made organizing heaps of climbing gear or loading specific items less of a daunting task.
Placks long looked to supportive stays as a sole means of comfort, but back panel fabric sucked moisture, grabbed snow and offered little support. We integrated a stretch woven shell to the underside that significantly upped carrying comfort over long and arduous hauls. This new fabric ensured bomber durability, better temperature regulation and snow shedding function on all of our contact surfaces. As a structural upgrade, the soft shell under-belly brought...

アーケテリクスは自らが求める機能を実現するために開発に力を注いできた。ストレッチ素材ながら防水性を備えた生地。雪がさらさらと滑り落ちる生地。スキーを確実にホールドできると同時に使うときに簡単にリリースできる機能など数多くの新技術、新素材が生まれている。それらはデザインが革新性を獲得することにつながる。

1991年 アウトドア新世紀、 ここに始まる。 強い輝きを放ち カナダのノースバンクーバーから アーケテリクス出現。

彼らは自身を始祖鳥になぞらえてアーケテリクスという名前を選んだ。アルカエオプテリクス属の化石の鳥は、新しい天地を開くために、前肢を翼に変えて空を飛ぶことを選んだ鳥類最古の祖先と考えられている。化石として眠る姿が知られるだけで、ほんとうの姿を知るものはいない。
アーケテリクスの物語は、1989年にカナダノースバンクーバーのコロンビア通りに住んでいたデイブ・レインが、地下室に道具を運び込んでクライミング用のハーネスをつくったところから始まる。そのときのロックソリッド社がアーケテリクスの前身にあたる。ジェレミー・ガードが加わってデザインや素材を研究しつづけて、なおかつ美しい道具をつくることに没頭した。最初の成果はバックルとしてかたちになった。従来のものはどうしてもクライミング中に緩んでしまった。ふたりがつくったバックルはハーネスのウェッジングが滑るのを止め、締め直す必要がなかった。これはスカハと命名したハーネスに導入されて発売された。これが1991年のことであり、ロックソリッドからアーケテリクスとしてスタートを切った年にあたる。
ハーネスにつづく製品はバックだった。ジム・パーディ、ダン・ジャクソンという人物も加わって、セブリング、ミウラそしてカムソンといったバック類が完成した。これらのバックは見ただけでなく、従来のバックバックとは違うことがわかった。ランシカルなビジュアルそのものが、アーケテリクスがアウトドアグッズとどう向き合っているのか、アウトドアで使う道具はどうかあるべきと考えているのかを主張していた。
アウトドアで使う道具のデザインに、人間工学的なアプローチをすることはすでに広まっていた。アーケテリクスでは、運動する身体をサポートするだけでなく、それをアウトドアで使える道具にすることに力を注いだ。ハーネスならば、従来のように平面ではなく、最初から立体として製作する以外に、自分たちの求める答えに到達できる道がなかった。それはベイパーテクノロジーという熱成型技術として結実することになる。この技術の誕生に中心となって力を注いだのはマイク・ブレんカーンだった。



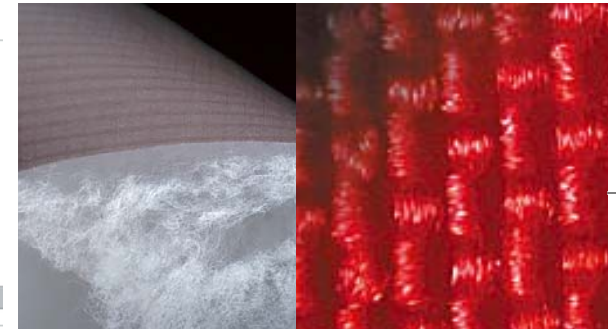
アーケテリクスの領土は
 極限の過酷さが支配する
 アウトドア。
 自由なスピリットで
 自己実現を可能にする。
 基盤にあるのは
 タフでありながらも
 しなやかな思考。
 正しい状況判断が
 あるからこそ導かれる
 思考方法である。
 すべては
 アウトドアでの
 行動規範と
 つながっている。



ノースバンクーバーにある本社デザインルームで作業台の前に立つマイク・ブレンカーン。彼はアウトドアで使われる道具のマテリアルとその構造に豊かな知識を有する。アーケテリクスがアパレルをやると決めたときに技術開発のエンジン役を果たした。自分たちが求める機能を実現できる目的を備えた素材がなければ人材と情報を集めて開発してしまうアーケテリクスの行き方はここから始まっている。



アウトドアで使う道具やクロージングは、内と外から水濡れへの備えと防寒の備えが必須になる。そのためにパーツごとに最適な縫製技術を駆使し、針穴を排除すべき箇所にはラミネート技術を導入している。



フェースファブリックには防水面からゴアテックス®を選び、防寒面からはキルティング加工が不要のロフトインシュレーションを採用する。

**長き眠りから覚めた
 有翼のトカゲ
 「始祖鳥」に託された
 ハイスpekギアの誇り。**

DELTA SV JACKET	DELTA AR JACKET	DELTA AR ZIP	DELTA LT ZIP	COVER HOGGY	MAVERICK AR JACKET	APACHE AR ZIP
M/L: 3000 / W: 3000	M/L: 2800 / W: 2800	M/L: 2300 / W: 2300	M/L: 1700 / W: 1700	M/L: 4000 / W: 4000	M/L: 1200 / W: 1200	M/L: 1200
Net Weight / W: 400 Grams	Net Weight / W: 350 Grams	Net Weight / W: 250 Grams	Net Weight / W: 180 Grams	Net Weight / W: 450 Grams	Net Weight / W: 450 Grams	Net Weight / W: 450 Grams
S, M, L, XL	S, M, L, XL	S, M, L, XL, XXL	S, M, L, XL	S, M, L, XL, XXL	S, M, L, XL	S, M, L, XL, XXL
XS, S, M, L	XS, S, M, L	XS, S, M, L, XL	XS, S, M, L, XL	XS, S, M, L, XL	XS, S, M, L, XL	XS, S, M, L, XL
Patented Thermal Pro™ high lift	Patented Thermal Pro™ midweight	Patented Thermal Pro™ high lift grid	Patented Thermal Pro™ lightweight	Patented Thermal Pro™ Seamless Weave	Patented Thermal Pro™ Halfhood	Patented Thermal Pro™ Hood
Full Front Zip with Chin Guard	Full Front Zip with Chin Guard	Half Zip	Half Zip	Full Front Zip	Full Front Zip with Windstop	Half Zip
Laminated Pocket Zip	Laminated Pocket Zip	Laminated Pocket Zip	Laminated Pocket Zip	Laminated Pocket Zip	Laminated Pocket Zip	Laminated Pocket Zip
Great warmth-to-weight ratio, Packable	Exceptional warmth-to-weight ratio, Packable	Great warmth-to-weight ratio	Exceptional warmth-to-weight ratio, Packable	Breathable, Quick-Drying	Warm Trim Mid Layer	Great warmth-to-weight ratio
Internal Pocket, Zip	Internal Pocket, Zip			Slave Pocket, Zip	Half Detached, Zip	Chest Pocket, Chest Patches, Zip
★★★★	★★★★★	★★★★	★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★
Waist Length 2 Hook, 1 Internal	Waist Length	Waist Length	Waist Length	Waist Length 2 Hook, 1 Slit	Waist Length 2 Hook, 1 Slit	Waist Length 1 Chest

確かなサポート力を保ちながら、身体へのフィット感は失わない。これを両立させるハイパーテクノロジーは、ハーネスを立体構造のまま製造する目的から生まれた。サポート力と優れたフィッティング、それを何より求めていたのがバックパックであり、ハイパーを使えば柔構造のフレームでありながらバックの荷重を引き受けることができる。つまりかつてのエクスターナルフレームのバック並の積載量を発揮しながらも、パイプが身体に食い込んでくる苦痛からは逃れられるのだ。バックのベルトも変えた。密度の異なるフォームを二重にした。そこにはシームレス化とラミネーションの技術が使われている。腰を動かしたり、ひねってもバックがずり上がらないように、ステイの形状をV字形にした。それをベルトに直結させてスリム化を計った。これは起伏のある場所を長時間バックを背負って歩くときに威力を発揮する。また、分厚いフォームを入れる従来のシヨルダーストラップのやり方も変えた。ここでもハイパー技術を使い、肩のカーブにフィットするストラップにしたのだ。こうした

フレーム構造とサスペンションをまとめたものが、バックパックのボラとなつて結実した。1994年にボラは「バックパックカーマガジン」の「エディターズチョイス賞」に選ばれることになった。アーケテリクスのデザイナーは、受賞はうれしいが競争に意味はないという。他の者と争うことではなく、自身が立てた仮説にチャレンジすることに意義がある。アウトドアでどこまで行けるのか。そこで使う道具は、どこまでやるのか。何が得意なのか。デザイナーはそれに対してつねに挑み心を持ちつづける。

まず、インジニオンありきという姿勢は、理想ばかりを追いかける非現実的な思考方法とは違うのだと彼らはいう。アーケテリクスはいつもバンクーバーの自然と向き合っている。自然のなかにムダなことは、何ひとつとしてない。自然を観察する目。自然と対話する。本当に必要なものは何か。本質は何かをいつも考えない。自然はごまかさない。このことを身を以て知っている彼らだからだ。もしも現実から目をそらしたら、アウトドアでは自分自身でもっとも高い代償を払うしかない。

Gamma SV Hoody
 【ガンマ SV フーディ】
 高い耐久性を備えたソフトシェルジャケット。スピーディな身体能力を発揮するための切り替えがデザイン面でも効果を上げている。色 / キャンディアップルレッド、素材 / ポーラテック®ハイロフト®ハイロフト他、価格6万9000円

グレートブランド物語
 Great Brand Story
ARC'TERYX

自由なスピリットで 荒野に行く抜群の行動力。 自分と向き合う力ある者には 100%の自己表現が 許される。

アーケテリクスには軍および警察と公的な警備組織に対してのみ供給するLEAFと呼ぶ製品群がある。このウッドランドカモのエクスペディション用バック、タンゴもそのひとつであり、アメリカ海兵隊が採用する。バックそのものは、軍の研究所ナティックによるモリーシステムに基づいたウェビングを装備して、優れた拡張性を発揮する。(参考品)



グレイブランド物語
Great Brand Story

ARC'TERYX

Stiletto Side Zip [スティレット・サイドジップ]
女性用のセカンドレイヤー用防寒着。美しい染色とデザインはストリートにも最適。色/アロエ、素材/ボラテック® サーマルプロ®。価格2万1000円

Venta SV Jacket [ベンタ SV ジャケット]
マイクロチェックと起毛ニットを部位ごとのバックカーに使い分けて、軽量でありながら優れた防風機能を発揮するソフトシェルジャケット。色/ブラック、素材/ウィンドストッパー®。価格5万6700円



ARC'TERYX TOKYO GINZA
【アーケテリクス 東京 銀座】 東京都中央区銀座3-11-14
営業時間: 平日11:30~19:00 日祝祭日: 10:30~18:00
定休日: 火曜日 ☎03-3248-1271 <http://www.sun-west.co.jp/>



カナダのブリティッシュ コロンビア州バンクーバーから アーケテリクスが 届ける アウトドアの伝言。

右上) Classic Beanie [クラシックビーニー]
4つのダーツをつけたニット帽子。色/マホガニー、素材/ウール、フリースをライニング、ワンサイズ。価格6090円。

右) Citadel Hoody [シタデルフーディ]
女性用のフード付きフルオーバー。色/ウッズモーク、素材/ボラテック® パワードライ、ウール。価格2万4150円。



バックパックについで、アーケテリクスはアパレルに乗り出す。それまでジャケットすらつくったことがなかった彼らは、そのプロジェクトをアーケテリクス最大のギャンブルと表現した。けれど自分たちが取り組みたいものは、もっといいものができる確信があった。最高に軽量で、最高のパフォーマンスを発揮して、最高の品質を持つ製品を世の中に送り出す確信である。アパレルの経験はゼロでも、アウトドアで着る衣類がどんなものであるべきかは十分に知っていた。まだ彼らが知っていたことはあった。自分たちが追いかける、求める道具を実現化する技術がどこにあるのかを、あるいは求める素材はどへ行けば手に入るのかを知っていた。情報は彼らの道具のひとつだったから、最初アーケテリクスが

XCRになった。そこで使われたラミネート技術は、針で布に穴をあけたくないというアーケテリクスのビジョンの実現につながった。縫製が一番と信じて疑わなかった。縫製が一つの考え方は、生まれようがなかった技術である。またYKKと協同して止水ファスナーを完成させた。水の浸入に対してタイトなファスナーは、それまでのジャケットに欠かすことが出来なかった。前開き部分やポケットからフラップを排除した。アーケテリクスが憑かれたように専心していることがある。ロードマップのない道を進む革新的製造技術を確認させること。シヨートカットするためのテクノロジーは、いらぬ。モノづくりは、借りない。デザインは、借りない。デザインは、パラダイムシフトを起こす力があるもの。機能性繊維の技術革新に鋭敏であれということだ。アーケテリクスでは、デザインとモノづくりの現場が連合している。両者のあいだで化学反応が起きて融合する。それが借り物ではないアイデアを生み、アーケテリクスを先人のいない世界へ飛び立たせてきた。